

わいわい 1年生!



友だちになってね!!



発行所
佐賀市与賀町1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-22276
印刷 佐賀印刷社

発行責任者
会長 倉光 健二

語り合おう!
「家庭の日」
(毎月第二日曜日)



晴田小学校
おおくぼ かほ

いちねんせいになったら、しょうがつのおそじをがんばりたいです。おにいちやんとしょうがつにいくのもたのしみです。としゃかんでほんをいっぱいかりたいです。



循誘小学校
さかもと じゅたろう

一年生になって、みんなともだちになれたらいいな。二年生や六年生みんなともだちになりたいです。どうやったら、みんなともだちになれるかな。ぼくはかけこがとくいなので、うんどうかいたのしみです。



仁比山小学校
熊谷 瞳花

ようちえんのおともだちとはバラバラになってしまったけど、しょうがつこうでたくさんおともだちをつくりたいです。



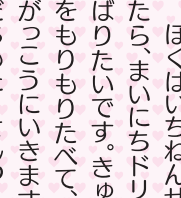
三根西小学校
有森ともか

いちねんせいになったら、としゃかんでほんをかりるのが、たのしみです。あとせんせいのはなしをしっかりと聞いて、ペンきょうをがんばります。



基里小学校
馬場 奏多

ぼくは、はじめてペンきょうすることたのしみです。たいくもたのしみです。きょうしつにはじめてはいるまでドキドキします。



有田中部小学校
岸川武千代

ぼくはいちねんせいになったら、まいにちドリルをがんばりたいです。きょうしつをもちもりたべて、げんきがっこうにいけます。おともだちもたくさんつくりたいです。がっこうがたのしみです。



伊万里小学校
金子智之臣

ぼくは、しょうがつをがんばったら、ペンきょうをがんばります。そして、たくさんともだちをつくらたいです。でやきゅうをやりたいたいです。ともだちのしみです。



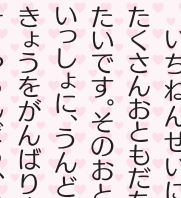
玄海みらい学園
おおほら なち

びかびかがっこうにいくながたのしみです。いちねんせいになったら、さんすうをがんばります。おともだちもたくさんつくって、いっしょに遊びたいです。



中央校
野田 隼平

いちねんせいになったら、もじのペンきょうをがんばって、パパとママにがみをかきます。うんどうかいは、いちばんになれるようにしたいです。どんなおともだちができるかな。ともわくわくしています。



多良小学校
馬場 國光

いちねんせいになったら、たくさんおともだちをつくりたいです。そのおともだちといっしょに、うんどう、おペンきょうをがんばります。えんそくやうんどうかいたのしみです。



明倫小学校
峰松 由羽

わたしは、いちねんせいになったら、ペンきょうとうんどうをがんばりたいです。さんすうのペンきょうがたのしみです。ともだちたくさんできたらいいな。



江北小学校
久地井 空

私は、一年生になったらがんばってたくさん歩いて学校に行きます。それから、一輪車に乗れるようになって、友だちと一緒に乗りたいです。勉強もいっしょにやりたいたいです。



武内小学校
蒲地 笑子

「ねんせいになったら、がっこうのおにいさん、おねえさんとはやくおともだちになりたいたいです。「ねんせいのおともだち」といっしょにあそんで、じもとくさんかけるように、ペンきょうもがんばりたいです。

ランドセル



今日は「幼稚園?」バスはもう来た?」が口ぐせの様で言っていた長女。「今日は休みだから違うよ。」と言うとガツカリした顔をする。幼稚園での毎日が楽しくてしかたない長女も三月に卒園。
卒園式で、泣くかもしれないと心配していた当日。その心配は見事にはずれてしまった。元気な返事。しっかりとした顔で卒園証書を受けとり持ってきてくれた。何と声をかけようか?と考えていた私に、「はあはあはあ?」その一言で感動はどこへやら...
その後も涙をながすことなく笑顔のまま幼稚園を後にした。
以外とあっさりしているなと思ってしまう。
食べる事がとても大好きな長女。長男と体格がかわらない位に成長した彼女も春からはピカピカの一年生。真新しいランドセルを小さな背中に背負って小学校へ通います。制服もブカブカ。ぼうしもブカブカ。一目見て一年生だとわかってしまうブカブカぶり。
仲のいい友達と小学校が別々になってしまったけれど、これから通う小学校でたくさんさんの友達を作ってほしい。
そしてたくさんさんの出来事を今まで以上に聞かせてほしい。
「あなたの成長を誰よりも楽しみにしているよ。」
仁比山小 P 熊谷 和人

入学おめでとう

夢と希望に向かって



青嶺中学校 古賀 翔太

ぼくは、中学校では野球部に入ります。なぜなら小学校三年生の時に野球に興味を持ち、三年生で少年野球に入りました。そのころからぼくは、将来プロ野球選手になりたいと思うようになりました。

でも、「野球が好き」だけで野球部に入る訳ではありません。ぼくは、精神がきたえられるし、何事にも集中できると思ったからです。

中学校では、部活だけでなく、英語も一生けん命頑張りたいです。ほかにも、体育が得意なので体育もがんばります。そして小学校の思い出を忘れないようにしたいです。



基山中学校 木原悠一郎

ぼくは、小学校のころ少年野球クラブで火曜木曜にボールを投げたり打ったりしていました。仲間とじっくり練習を頑張っていました。中学校でも、野球部に入部して、これまでの経験を生かしてチームのために一生懸命頑張りたいです。

そしてもう一つは勉強です。中学校では、小学校のときは変化のある教科があります。例えば数学です。小学校では算数だったものが中学校では数学に名前が変わりました。変わったのは名前だけではなく中身もなのでそれぞれ一生懸命に頑張りたいと思います。



武雄中学校 長田 昇龍



僕は、今燃えている。熱く熱く燃えている。中学校一年生になって、部活も勉強もがんばろうと思っているからだ。特に数学を習うのが、楽しみだ。英語もはじめて習うので、勝負だと思っている。それから先輩たちが、かっこいい。僕も、先輩たちみたいにカッコよくなるぞ。だから、部活と勉強を両立させる。



神崎中学校 真富 菜陸

私は中学生になったら特に頑張りたいことが三つあります。一つ目は勉強、特に数学と英語に力を注ぎたいです。二つ目は部活動でハンドボールをすること、姉がやっているのを見て憧れて、ぜひ自分もやってみたいと思います。三つ目は友達を大切にすること、神崎、西郷、仁比山という三つの小学校から生徒が集まる神崎中学校で、沢山のひとふれあい、人間性を高めたいです。充実した毎日を送るためには自分の考え方や行動次第だと思います。楽しい学校生活を送ることができるよう、努力を惜しまず過ごしていきたいと思えます。



中央校 永石 真由

私が通う中学校は小中一貫校です。小学校とメンバーは同じなので友達作りに不安はありません。中学校では勉強が難しくなるので、部活と勉強の両立をがんばります。部活は吹奏楽部に入りたいと思っています。毎日の練習を一生けん命がんばり、先輩方のような演奏ができるようになりたいです。

また、学校行事の体育祭や修学旅行、文化祭などで友達との思い出をたくさん作ることがたのしみです。

これからの中学校生活、何んでも一生けん命取り組み、チャレンジし、楽しみながら、充実した三年間を送りたいです。



昭栄中学校 池田 圭佑

ぼくは、中学校に行ったら勉強や部活を両立させて、友達をたくさん作り、楽しい中学生活にしようと思っています。

まず、部活はテニス部に入って、練習をがんばって先輩がたに追いつき、大会にもでられるようになりたいです。

それと、勉強も今までは違い教科も増え、難しくなると思うのでがんばって学年でも上位に入れるようになりたいです。中学校は、小学校より三年短くなり不安もたくさんあります。一日一日を大切にすごし、楽しい思い出をたくさん作りたいです。

そして、将来の夢に向かって前進します。



三根中学校 原 智之

ぼくは、中学生になったら、楽しみなことがいろいろあります。一つ目は、違う小学校の友達と知り合えることです。たくさん友達を作りたいです。

二つ目は、少年野球クラブで一緒だった先ばい達と、また野球ができることです。中学校でも一生けん命に練習し先ばい達に負けないようにがんばりたいです。

もちろん勉強もがんばります。科目も増えて、むずかしくなると思います。みんなに負けないようにがんばります。

不安もあるけど、三年間、勉強と部活を頑張っていって、友達とも、仲良くして、思い出いっぱい三年間にしたいです。



牛津中学校 江口 惟登

ぼくは砥川小で、一年生から六年生まで一クラスで同じメンバーと過ごしてきましたが、中学校になると牛津小のみんなと過ごしていくことになるので、たくさん友達を作り中学校生活を楽しみたいと思います。そして中学校でも、バレー部に入部し、今まで練習してきたことを活かしてチームのためにがんばりたいと思います。中学校の部活は中学校生活の一つなので自分に厳しく、友達にやさしく信頼できるような人になりたいです。中学校では、新しい教科が増えて勉強が難しくなると思うけどとても楽しみにしています。多くの人に見守られ、一日一日を大切に過ごしたいと思います。



西有田中学校P 桑原 美香

中学校入学おめでとうございませう。皆さんの今の気持ちは、大きな期待と少しの不安で入学式を迎えられたことと思います。中学では、勉強や部活に頑張っているか不安な気持ちもありません。そのためには、自分自身に厳しく目標を持ってこつこつと努力することが必要です。努力は裏切らないと信じています。皆さんが頑張っている姿は、両親、先生方がしっかりと見られています。

これからの中学生活の中では勉強、友達関係に悩んだりすることもあると思いますが、一人で悩まず親、友達、先生へ相談する事です。皆さんの中学生生活が充実した日々となりますように応援しています。



鹿島東部中学校P 野田 淳二

中学校入学おめでとうございませう。中学生生活は机や本に向かう勉強もですが、世の中や人間関係も少しずつ学んでいくのだと思います。それとこれと決めた目標などを見つけて、諦めず一歩ずつ努力を積み上げてください。それはやがて大きな成果となって返ってきます。また友達との付き合いも仲が良い子を探すのも大事ですが、自分が友達にどうやっていい友達になろうというのを意識したら、きっと周りの人との関係が豊かになると思います。みなさんには私たちが想像しえない大きな可能性もっています。この三年間を色々なことにチャレンジしてみてください。



大浦中学校P 池田 伸也

中学校ご入学おめでとうございませう。通いなれた小学校と違い、全く新しい学校生活が始まります。最初は勝手がわからず不安になることもあるでしょうが、積極的になんでもチャレンジしてみてください。その経験は大人になる上で、必ず自分のプラスになります。たくさん経験値を積んで、心も身体も大きな大人へと成長してください。人生の先輩として一つだけみなさんにアドバイスするとすれば、笑顔や忘れられないこと。いつもニコニコしててください。ニコニコした人には必ず幸運がやってきます。その笑顔で周りも幸せにしてください。皆さんの活躍をずっと見守っています。

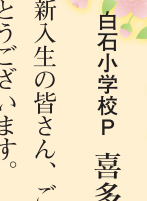


相知中学校 田口 美里

新入生の皆様、入学おめでとうございませう。制服を着た姿を見ると大人に近づいてきているんだなと頼もしく思います。

中学校の三年間はあつという間に過ぎ去ってしまいます。ダラダラ過ごすのではなく目標を持って努力して下さい。それから思いやりの気持ちを忘れずに友達を大切にして、楽しく充実した中学校生活にしてください。

また、辛い時や大きな壁にぶつかった時には一人で悩まず、周りの大人の人や友達を頼って下さい。これからの皆様の成長を保護者一同心から見守っています。感謝の心を持って頑張ってください。



白石小学校P 喜多 紀彦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。

中学生になり、大人への第一歩を踏み出すわけですが、これからの中学・高校の六年間は、皆さんの人生にとって、とても大切な六年間になります。今までは違いますが、自分で決めなくてはならないことが増えてくるでしょう。そんな時、常に自分の心と向き合える人たちであって欲しいと思っています。

日々の「積み重ね」や「思い」が自分自身を作り上げ、自信となっていく。夢を描き、その夢の実現に向けて日々の積み重ねを怠らず、自信を深め、有意義な学校生活を送られる事を願っています。がんばれ！

日本PTA国内研修事業

(沖縄県島尻郡渡嘉敷島村)

平成26年3月26日(木)～29日(日)

国内研修に参加して



伊万里中学校
山口 瑞樹

今回研修旅行に参加し、初めて沖縄を訪れ、貴重な体験をさせていただきました。まったく知らない土地で知らない人ばかりの中にあわることができの不安でしたが、研修に参加できて本当に良かったと思います。

まずは、村の人たちに大歓迎で迎えられ、グループを作った時にはすでに友達もできていました。平和学習では長崎や鹿児島、修学旅行で戦争の悲惨さは学んだつもりですが、渡嘉敷島で

チャレンジ



多良中学校
江口 愛

この四日間の国内研修で、様々な人と出会い、色々なことにチャレンジすることができました。

初めは、友達が出来たのだろうかという不安があり、緊張していましたが、でも班活動を通して、たくさんの人とコミュニケーションをとり、仲良くなりました。特に、野外炊事では班のみんなと協力してカレーを作りました。野菜を切ったり、火をつけたりすべて自分達で行いました。皆で協力して作ったカレーはとてもおいしく、やり遂げたという

起きた惨劇はまた違うものがあり、悲痛な感じがありました。戦争の話は、やはりいつまでも語り続けられるべきだと感じました。各自、事前に用意していた千羽鶴は班の代表として慰霊碑に捧げ、全員で冥福を祈りました。渡嘉敷島に来て一番の思い出は、海洋研修でシーカヤック・カヌー、そして海に潜ったことです。沖縄の晴れた日の海はとても青くきれいです。

今回、全国から集まったそれぞれの同級生と仲良く過ごせた数日は大切な思い出になることだと思います。また沖縄に行けたらいいなと思っています。この度は、すばらしい体験をさせていただき有難うございました。

達成感を味わうことができました。そして地元の人との交流会では、それぞれのグループに分かれてワークショップを体験しました。私は「三線」を習いました。難しかったけど、グループのみんなと息を合わせて一つの曲を演奏することができました。全国各地の中学生と方言の話をしたり、部活や学校の話を語り合い、楽しく四日間を過ごしました。宮城県の友達は、東日本大震災での貴重な出来事を話してくれました。色々なことにチャレンジする大切さとたくさんの人に会い、コミュニケーションをたくさんとることで、たくさんの思いに触れることができました。言葉を交わす大切さを学びました。

第36回 佐賀県PTA

新聞コンクール審査講評



佐賀新聞社
編集局長
澤野 善文

三十六回の歴史を刻んできた佐賀県PTA新聞コンクールに、今年も小学校六十七校、中学校三十校の応募がありました。小中学校とも近年では最も多い応募で、その内容から活発な広報活動が展開されていることがうかがい知れました。審査する側もやりがいを感じながら一部を拝見しました。

一次審査で小学校十一校、中学校十校に絞り、最終審査は県PTA会長はじめ県Pの広報委員ら計十八人で選考。行事をただ伝えるだけでなく写真やレイアウトに工夫が見られ、全体のレベルは上がっているように思います。また学校現場が抱える問題をアンケート形式で検証する企画も増え、読み応え、見応えのある新聞が多く出品された印象です。

にわたる壮観なレイアウトや子どもたちの生き生きとした表情が好印象でした。お母さんたちが子育ての難しさや心配などについて本音を吐露した企画も目を引きました。核家族化が進み、お母さんは孤立しがちです。子育てに悩むほかの家庭にも参考になったのではないかと思います。

中学校の部は小城中「きずな」が、昨年に続き受賞しました。写真をふんだんに使い、体育祭や修学旅行、部活動などを紹介するレイアウトが評価されました。連続の最高賞はノウハウが確実に受け継がれている証で、その編集体制も称賛に値します。

小中三校ずつが選ばれた優秀賞には、初めて応募した東与賀小「はばたけ」、二回目の中原中「ましまず」が見事入りました。紙面体裁には工夫が必要な部分もありましたが、子どもたちの記憶を伝え、残していこうという一生懸命さが紙面を通して感じ取れました。また波多津東小「ふれ愛」は、ほのぼのとした手作り感が際立っていました。オリジナルカラー編集など洗練された紙面が増える中、違った意味で子



どもたちの思い出に残ることでしよう。

若者を中心に活字離れが進んでいます。本や新聞はその代表格とも言えますが、実は新聞には新聞の良さがたくさんあります。好きな時間にページを開くことができ、何度も読み返すことができ、折に触れ紙面をめぐってみると学校生活の懐かしい思い出がよみがえってきます。お父さん、お母さん目線で子どもたちの成長を記録したPTA新聞は、卒業アルバムと違った意味で宝物になるはずです。編集委員のみなさんは、そんな思いも込め、これからも編集を担ってください。

賞が取れました！ おめでとうございます

小学校の部

最優秀賞

「かささぎ」 鹿島小P

優秀賞

「なかばる」 中原小P
「はばたけ」 東与賀小P
「ふれ愛」 波多津東小育

努力賞

「ときわ」 橘小育
「とどろき」 轟小P
「フッセル」 鳥栖小P
「やまびこ」 晴田小育
「こだま」 上峰小P
「城山」 山代東小P

中学校の部

最優秀賞

「きずな」 小城中育

優秀賞

「ましまず」 中原中P
「南風」 南波多中育
「ふじ」 嬉野中P

努力賞

「白線」 付属中育
「城西中PTA」 城西中P
「セイブ」 鹿島西部中P

少年自然の家で、残そう仲間との思い出 育てよう丈夫な体と豊かな心。



佐賀県波戸岬少年自然の家
TEL:0955-82-5507 FAX:0955-51-1036



佐賀県黒髪少年自然の家
TEL:0954-45-2170 FAX:0954-45-2137

県内には、山や高原、海に面した少年自然の家があります。少年自然の家は、ご利用の団体に応じた活動ができる宿泊施設です。各学校の自然体験・宿泊学習、子ども団体の自然体験、キャンプはもちろん、小・中・高等学校のスポーツや音楽団体などの練習や合宿、研修に最適な施設です。皆さま方のご利用をお待ちしております。

施設利用料（一泊あたり）／3歳以上・小・中学生：100円
高校生・学生 } 210円
教育内活動に係る指導者 }
上記以外の大人：430円
食費／朝食：390円 昼食：550円 夕食：700円

子育て応援メッセージ 「子育ていちばん！」

- あいつ習慣 日々努力
- 家族の絆は 日々食育
- 親子でがまん 日々前進
- 言葉・しぐさで 日々反省
- 子育て楽しみ 日々発見

私が住んでいる所は、海・山がありとても緑豊かな場所です。

主人の父母は農業を営んでおり、そのおかげで毎日旬の野菜がいただけます。私は子どもを授かるまで食べ物について気にしていなかったのですが、子育てにあってはただでさえ大切な事か身をもって感じました。

私はその野菜を使って毎朝みそ汁を作ります。六年生の長女と四年生の長男は時々手伝ってくれます。自分達で作ると普段よりなんでもよく食べます。妹に「野菜もちゃんと食べるとよ。」と言って食べさせてくれます。そういう光景を目にすると自然と笑みがこぼれます。

父母が丹精込めて作った野菜をみんなでおいしくいただけ事に感謝し、子ども達には体にいいものもしっかり食べて、しっかり生きる事を伝えながら成長を見守っていきたくです。

黒川小育 坂本ひとみ

私には、三人の子どもがいます。『子育て中』と言えるほど、大したことは出来ておらず、ほとんど妻に任せきりでした。

そんな私でも、一番上の子が小学校に入ってから十年以上続けてきたことがあります。それは、毎朝の登校のときの見送りで、隣の上級生の家まで一緒に歩き、『氣を付けて。行つてらっしゃい。』と声をかけ、引越してからは、家の前の県道を渡つて見えなくなるまで、三人の子どもを見送り続けてきました。(一日酔いで、朝起きるのが遅い日を除いて)

今年から一番下の子が小学六年生になり、さすがに恥ずかしがるだろうと思つて、三月の修了式の日を最後に見送りを辞めました。これで最後かと、感慨深かったのですが、今でもどうしても気になります。家の窓から、そつと見送っています。

福富小P 吉村 浩



伊万里小学校の 育友会活動

伊万里小育
会長 岩永 学



伊万里小学校では、これまで様々な前人たちが関わり、あいさつ運動が推進されてきました。歴史をひもとけば十数年前、当時の育友会長さんが、伊万里小学校の子どもが社会に出ても通用する人間になるには、まず日頃のあいさつが大切だということとを提唱され、そのために育友会が何か役に立ちたいという思

大町小学校の PTA活動

大町小P
会長 三好 裕人

私たちの住む大町町は、かつて炭鉱の町として栄えていて、昭和三十三年には大町小学校八十六学級、生徒数は四千人を超える日本一のマンモス小学校でした。現在は小中一貫校、大町

本校では、一昨年に水難事故で尊い命が亡くなるという悲しい出来事がありました。二度とこの様な出来事が起きない様、保護者・学校・地域と連携し、学校でさまざまな交通安全の取り組みや水難救

特色ある 単Pの活動

～伊万里市・杵島郡編～ Vol.35

いから始められたことがわかりました。最初は、戸惑いを見せたい子どもたちも、日に日にあいさつが上手になっていったと、当時は振り返っておられます。その思いは、現在の「あいさつ運動」へと、引き継がれてきています。また、その流れが毎年十月に行われている啓成中学校・牧島小学校と共に取り組む三校合同あいさつ強化月間につながっています。

急救救命教室を開催しております。急救救命教室では、地元の消防署にご協力いただき、人形を使っての人工呼吸、AEDの使用法の研修を行い、安全意識の向上を図っています。さらに、子ども達の安全・生命を守る為、大町町にある十八箇所の溜め池救命器具点検・ポリタンク設置や、危険箇所の点検を父親委員会を中心に行っています。

各家庭では、あいさつ運動を進める中で、親子共にあいさつを大事にしようという気持ちはもちろん、「ありがとう」の言葉や「はい」と言う返事、会話などの機会が増え、コミュニケーションに対する意識が高まるという好結果につながってきています。ただ、地域とのつながりは、まだまだ不十分です。育友会としての今後の取り組みの中の大きな柱として、地域との連携をいかに図っていくか、地域の中でどのように子どもたちを育てていくかというところを取り上げるべきだと思えます。「すべては親子の絆づくりのために、地域の絆づくりのために、そして、子どもたちの将来のために」という思いを胸に、十数年間継続してきた伊万里小学校のあいさつ運動を、啓成中・牧島小の保護者の皆さんと共に、これまで以上に力を合わせながら続けていきたいと思います。

活動もスムーズに進んでいくという手ごたえを感じました。PTA活動において、何より大切なのは、保護者と学校の連携と信頼であり、これからも相互理解を深める努力が必要と考えております。すべては、子ども達の未来の為に。



佐賀県PTA連合会推薦 小中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

- 学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガを補償します。
- 他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。

※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先： **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン)受付時間:平日午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社： AIU損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 株式会社損害保険ジャパン

2015年1月現在の内容です。
承認番号 A-000510 2016-02